

61 牛コクシジウム病

担当	検査チャート
家畜保健衛生所	<pre> graph TD     A["(1) 疫学調査"] --&gt; B["(4) 糞便検査"]     A --&gt; C["(2) 臨床検査"]     C --&gt; B     C -- "(死亡牛)" --&gt; D["(3) 剖検"]     D -- "(病変部粘膜)" --&gt; E["(5) 簡易原虫検査"]     D --&gt; F["(6) 病理組織検査"]     B --&gt; B1["(+)" ]     B --&gt; B2["(-)" ]     E --&gt; E1["(+)" ]     E --&gt; E2["(-)" ]     F --&gt; F1["(+)" ]     F --&gt; F2["(-)" ]                     </pre>
病性鑑定施設	
判定・結果	<p>(+)      (-)      (+)      (-)      (+)      (-)</p>
最終判定	<p>疫学調査、臨床検査の結果を基に糞便検査と、場合により簡易原虫検査の結果により本病とする。</p>
その他	

→類似疾病検査

- ① 35 牛ロタウイルス病 ② 32 牛コロナウイルス病 ③ 14 牛ウイルス性下痢・粘膜病  
④ 42 牛大腸菌症 ⑤ 24 サルモネラ症 ⑥ 60 クリプトスポリジウム症

○ 病原体: *Eimeria zuernii*、*E. bovis*、*E. ellipsoidalis*、*E. auburnensis*、*E. wyomingensis*

(1) 疫学調査

- ① 幼若個体に好発  
牛では主として1ヵ月齢～1歳未満  
② ときに死亡が認められる。  
*E. zuernii*、*E. bovis*

(2) 臨床検査

- ① 血便(*E. zuernii*、*E. bovis*)、下痢便  
② 一般症状の悪化  
③ 抗生物質への無反応

(3) 剖 検

- ① 重症例では肛門周囲や後肢が糞便で汚染され、悪液質と貧血所見を伴う。  
② 線維索性出血性盲腸結腸炎。直腸まで波及することもある。

(4) 糞便検査

- ① オーシストの検出  
② 増殖期原虫の検出(糞便の塗抹、生鮮標本)  
*E. zuernii*、*E. bovis*では血便の塗抹が重要

(5) 簡易原虫検査

病変部粘膜の塗抹ギムザ染色標本または生鮮標本で原虫の検出

(6) 病理組織検査

- ① *E. bovis*および*E. auburnensis*感染では、小腸下部の絨毛上部の粘膜固有層に巨大な第一代シズントを形成  
② *E. zuernii*は、小腸下部の絨毛陰窩境界部(*crypt-villus junction*)より深層の粘膜固有層に同様に巨大な第一代シズントを形成。その大きさは、最大で直径約300μm  
③ 重症例では、盲腸および結腸において、陰窩上皮細胞にシズント、ガモント、オーシストが重度寄生、上皮細胞障害、腸腺の崩壊。同時に、表層上皮は扁平化、剥離し、線維素滲出、好中球浸潤、出血